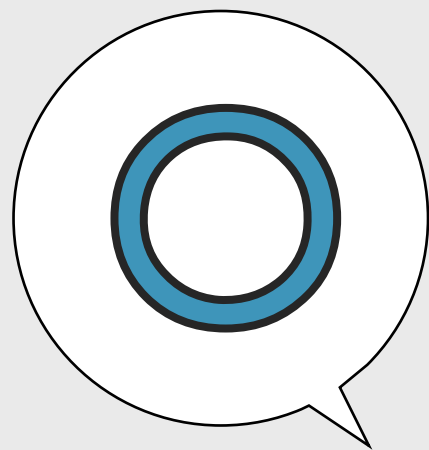


大雨が降^ふったときの

② 身を守る行動(避難^{ひなん})
を知る

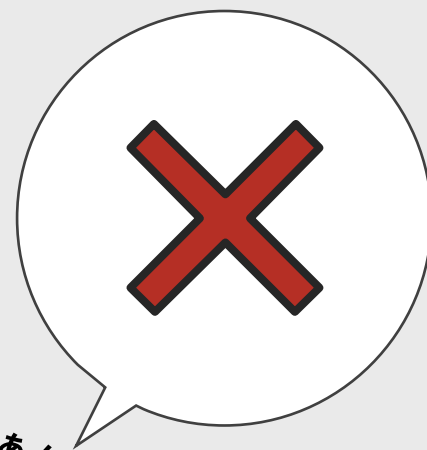
問3

災害が起こりそうなときに、役所から発令される
情報の中に「避難指示」や「緊急安全確保」が
あります。より災害の危険性が高いときに発令
されるのは「避難指示」である？



避難指示？

どっち？



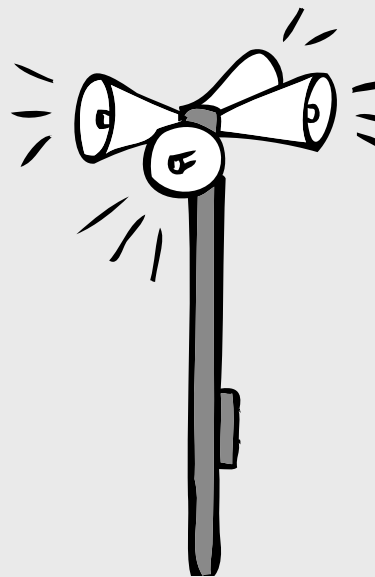
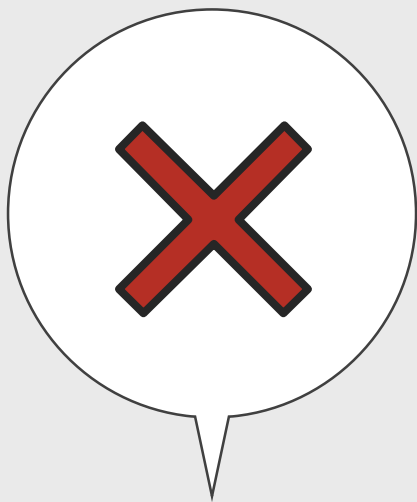
緊急安全確保？



問3

災害が起こりそうなときに、役所から発令される
情報の中に「避難指示」や「緊急安全確保」が
あります。より災害の危険性が高いときに発令
されるのは「避難指示」である？

正しい
正解



解説

より危険性が高いときに発令されるのは「緊急安全確保」です。

解説

役所から発令される避難情報には3種類あります。

左(赤色)から順に危険度が高くなります。

警戒レベル

3

高齢者等避難



避難を始める

ほかの人たちも、危険と思ったら避難を始める

警戒レベル

4

避難指示



危険な場所にいる

人が全員

避難を始める

警戒レベル

5

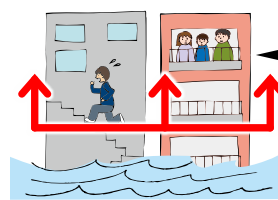
危険度

大

緊急安全確保

命の危険、

今すぐ安全な行動をとる



すぐに避難できない場合

建物の2階以上に避難

警戒レベル4までに必ず避難！

ただし、必ずこの順番で発令されるわけではありません。

情報が発令されないこともあります。

大

事

な

こ

と

身の危険を
感じたら
避難

！
土砂災害が起こりそうなとき

役所から発令される避難情報だけを
待つのではなく...



災害の状況によって避難の判断を
することが大切です。

「自分の命は自分で守る」

じ じょ

自助



「みんなで助け合う」

きょう じょ

共助



じょう きょう

**次の状況のとき
あなたは どうしますか？**

あなたは日曜日の昼間、家族と^{いっしょ}一緒にいます。



台風が近づいて、大雨が降っています。



A

川から離れた安全な場所に家があるため
あなたと家族は、避難せず
家で過ごすことにしました。



すると...



足腰の悪いおじいちゃんとおばあちゃんが雨の中、
歩いて避難している。

時間がかかりそう...

B

あなたの住む地域に「警戒レベル4
避難指示」が発令され、避難場所も
開いたため、あなたと家族は避難する
ことにしました。

避難のタイミングは、災害の状況によって
判断することが大切です



避難場所の〇△小学校を開設しました



川が近くにあるけど
大丈夫かな？

おとなりの人は
避難せず家にいるようです。



あしこし
足腰の悪いおじいちゃんとおばあちゃんが雨の中、歩いて避難しています。



おとなりの人は
ひなん
避難せず家にいるようです。

助けたい
てつだ
手伝いたい

声をかけたい

一人じゃムリかも

声かけづらいな





あしこし
足腰の悪い
おばあちゃん
ひなん
歩いて避難



中学生のみんなだけでは
むずか
難しいこともあります。

言かけづらいな

おとなりの人は
ひなん
避難せず家にいるようです。



大 事 な こ と

「みんなで助け合う」

きょう じょ

共助



「助ける側」になるときは
家族や地域^{ち い き}の大人と協力^{きょうりよく}
しましょう。

さいがい 災害が起きる前

自分たちに
できることを考え
チャレンジしてみる！



「助ける側」になれる

さいがい 災害が起きているとき

力が足りないかも



声かけづらいな



むずか
難しいかもしれない

まとめ

『自分の命は自分で守る』

じ じょ
自助



「みんなで助け合う」

きょう じょ
共助



自分の命は自分で守
ることを“**自助**”、みん
なで助け合うことを
“**共助**”といいます。

ポイント！

さいがい

じょうきょう

災害時にはいろいろな状況になることが

考えられます。まずは、一人ひとりが

さいがい

そな

じゅうよう

日ごろから災害に備えておくことが重要です。

まとめ



さいがい
災害時に、急に、
がわ
助ける側になることは
むずか
難しいかもしれません。

ポイント

今、できることがあるかもしれません。

ふだん
普段から「助ける側」になれること

をを考えて行動にうつすことが大切です。

お わ り